

RIMCOF 技術研究組合（略称：RIMCOF）の概要

- 設立年月日：平成28年7月12日
- 理事長：武田 展雄（東京大学副学長、東京大学大学院新領域創成科学研究科教授）
- 組合員：三菱重工業(株)、川崎重工業(株)、富士重工業(株)、（一財）素形材センター（3企業、1法人）
- 事業費：平成28年度 約2億円
- 事業の概要：航空機等の次世代材料及び加工技術の研究開発

○組合設立の目的

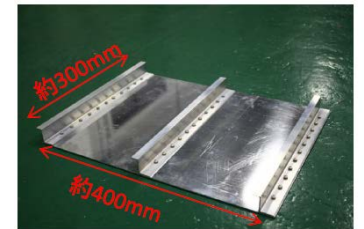
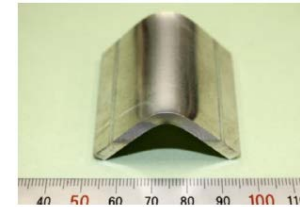
航空機メーカー、素材メーカー、大学等が協同し研究することにより、我が国の素材開発力、大学保有の高度な知識と研究設備を一つの力として航空機の軽量化促進及び安全性向上、生産性向上を図り航空機事業を発展させる。

○実用化の方向性

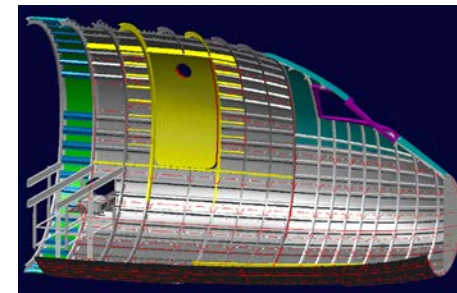
我が国の強みである最先端素材や加工技術の開発、更には従来培ってきた光ファイバ技術等も組み合わせながら、航空機構造を模擬した部材試作を通じ実際の機体構造への適用を図る。

○事業化の目途の時期

ボーイング737後継機や、将来開発されるその他航空機への適用を狙っていく。



マグネシウム合金加工・組立例



光ファイバセンサを組み込んだ複合材構造

SHMIによる複合材構造検査手法例

● 研究開発体制

